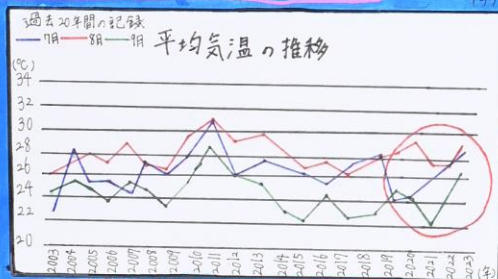


heat Stroke

——近年増加する熱中症——

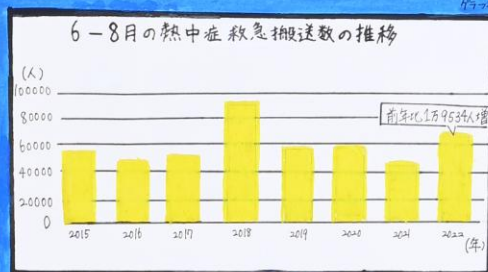
皆さんは、最近「暑い」と感じることはありますか？身の回りの人にそう聞くと、大抵の人は「感じる」と答えます。私は今回、近年の気温の変化と、熱中症の関係について調べてみました。



(結果)

私の予想では、具体的に熱中症に負傷者が上昇していると考えていましたが、結果は意外にも、バラスが伸びました。つまり、赤色で囲んだ、この数年は、平均気温が上昇傾向にあり、暑さが年々、具体的に増えて上昇傾向にあるといえます。

夏の熱中症患者の数は増加傾向？

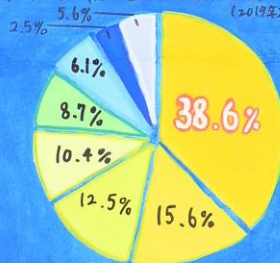


(結果)

私の予想では、バラスも、具体的にバラスが伸びたので、同じようにバラスが伸びるのではないかと考えていました。結果も予想どおり、バラスが伸びました。つまり、2023年ごろのバラスは、具体的に伸びています。増加傾向にあるといえます。

夏の熱中症はどのような場所で見られるのだろうか？

発生場所ごとの熱中症救急搬送者数 (2019年)



1. 自宅 (1) (2019年)	32,500人
2. 道路 (1) (2019年)	11,137人
3. 公共施設 (1) (2019年)	8,946人
4. 仕事 (1) (2019年)	7,403人
5. 公共施設 (1) (2019年)	6,023人
6. 公共施設 (1) (2019年)	4,369人
7. 仕事 (1) (2019年)	1,772人
その他	3,959人

出典：日本気象協会「気象庁」熱中症の救急搬送 (2019年)

(結果)

私の予想では、屋外が多いイメージでしたが、意外にも住居が多く、エアコンがなくても暑い室内に熱中症になる可能性があるといえる結果になったと思います。

夏の熱中症対策にはどのようなものがあるのだろうか？

熱中症予防と対策!!



これからの夏は、熱中症対策や予防をして、夏をのびのびと楽しもう!!

(まとめ)

最近、夏の気温が少しづつではありますが上がっています。それに伴って熱中症患者も増加しています。熱中症は意外にも、住居でなる可能性が1番高いと分かっています。室内であれば、油断せずに、しっかり熱中症対策や予防をしましょう。

(一言) 今回の調べ学習のおかげで、沢山のことを学べた!!